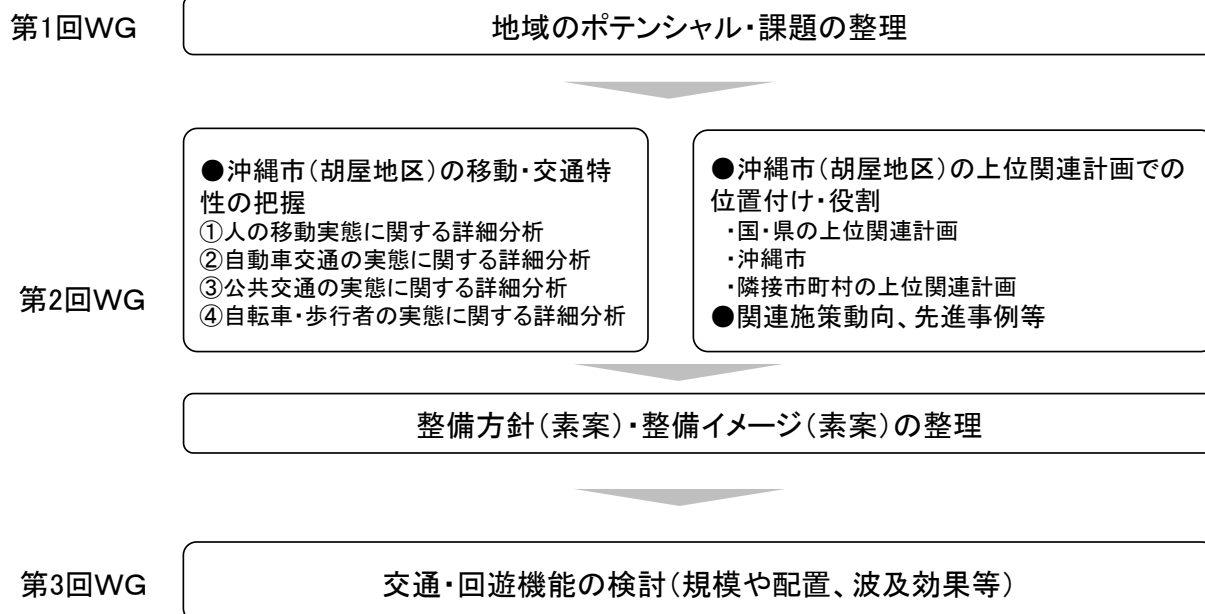


## 6 胡屋十字路周辺地区まちづくり検討ワーキングの開催

### 6-1 検討の流れについて

- まちづくり検討ワーキングの開催にあたり、下記に示すフローで検討を行った。



### 6-2 開催日時

- まちづくり検討ワーキングの開催日時を以下に示す。

|     | 日時                    | 概要   |
|-----|-----------------------|--|
| 第1回 | 令和3年9月1日<br>10時～12時   | <ul style="list-style-type: none"> <li>沿道まちづくりのこれまでの取組報告</li> <li>交通結節点に関する説明</li> <li>地域のパテンシャル・課題</li> </ul> |
| 第2回 | 令和3年11月17日<br>10時～12時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回WG議事要旨</li> <li>整備方針・整備イメージの素案</li> </ul>                            |
| 第3回 | 令和4年2月15日<br>15時～17時  | <ul style="list-style-type: none"> <li>第2回WG議事要旨</li> <li>交通・回遊機能の検討</li> </ul>                                |

## 6-3 まちづくり検討ワーキング

### 6-3-1 第1回まちづくり検討ワーキング

#### (1) 会の概要

|      |  |  |
|------|--|--|
| 開催日時 | 令和3年9月1日(水) 10:00~12:00  |  |
| 場所   | 沖縄市役所 5階 建設部会議室(※オンラインと併用)   |  |
| 出席者  | <b>【委員】14名</b><br>琉球大学名誉教授(座長) 池田 孝之<br>琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース 准教授 神谷 大介<br>沖縄総合事務局 南部国道事務所副所長 大城 元秀<br>沖縄総合事務局 建設産業・地方整備課 地方整備官 座覇 洋<br>NPO法人 まちづくりNPO コザまち社中 理事長 照屋 幹夫<br>合同会社 イドムス 執行役員 廣瀬 陽<br>コザ商店街連合会 会長 仲程 誠<br>センター自治会 会長 我喜屋 盛永<br>胡屋自治会 会長 島袋 恭治<br>沖縄商工会議所 中小企業振興部部長代理 課長 比嘉 正也<br>一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会 副会長 與座 美香<br>社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会 事務局長 上原 健次<br>沖縄市 経済文化部 次長 普久原 徹<br>沖縄市 建設部 次長 山内 盛三 |  |
|      | <b>【オブザーバー】4名</b><br>沖縄総合事務局 運輸部 企画室 室長補佐 當眞 嗣章<br>沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 課長補佐 伊藝 誠一郎<br>沖縄県 企画部 交通政策課 課長 金城 康司<br>都市再生機構(UR)九州支社 課長 新澤 聡   |  |
|      | <b>【事務局】7名</b><br>都市計画担当：阿嘉、浜比嘉、親泊、新里<br>中央建設コンサルタント：山中、宮國、岩崎  |  |
|      | (報告)<br>これまでの取組 資料1<br>沖縄市の交通結節点について 資料2<br>(議事)<br>国道330号胡屋地区沿道まちづくり交通・回遊機能の検討について 資料3<br>・地域のポテンシャルと課題   |  |

※スペースの都合上団体名・役職名を一部省略

## (2) 会議の主な意見

---

### 交通・回遊機能の検討において、沖縄市の計画や現況把握のための分析データ（人口、商業、交通等）、スケジュール等に関する主な意見

---

#### 【胡屋自治会】

胡屋地区は高齢化が進行しており、短距離でも買い物移動が難しく頼んでいる人もいます。住みやすい地区にするためには、色々な移動支援考えないといけない。ICT 技術も進んでいるので、バス情報提供等、利便性向上に向けた検討が必要と考えている。国、県、市が連携して取り組みが進んでいくことを期待している。

#### 【座 長】

地域と鉄軌道との関連性について整理していく必要があるのではないかと。

#### 【事務局】

鉄軌道の導入については、長期として見据えつつ、本件については、基幹バスとの連携した短中期の位置付けとしているが、鉄軌道との整理についても、今後検討させて頂きたい。

#### 【合同会社イドムス】

今回の交通結節点については、過年度から実施している沿道まちづくビジョンの延長線での検討という認識でよろしいかと。

#### 【事務局】

ご認識の通りである。

#### 【合同会社イドムス】

平成 27 年度にコザ商店街連合会が作成した商店街ビジョンにて、コザ商店街としてのバスの広域ビジョンを検討していたが、こちらは考慮されているか。

事業者数や駐車場のデータについて古いと感じる。現在は、コロナ禍の影響等もあり、変動が見られる可能性もあるため、最新のデータを取り揃えて頂きたい。

#### 【事務局】

事業者数データについては、経済センサスの最新データを利用している。貴社の駐車場調査も今後は是非参考にさせて頂きたい。

#### 【合同会社イドムス】

当社において、駐車場調査を過年度実施しているが、参考にしてはいかがかと。昨年度、目視で駐車台数を調査している。今年度においても、同様な調査を実施予定である。資料 3 では、一番街と北谷町との回遊性も確認できる。こういったデータも重要視していただきたい。

---

**【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】**

営業店舗数について、平成 30 年度のみの突出、その後の減少傾向理由について教えて頂きたい。

**【事務局】**

平成 30 年度の突出については、平成 26 年度に実施した空き店舗補助金事業の効果が出たためであると考えている。

**【沖縄商工会議所】**

平成 30 年度の店舗数について、調査実施主体である私どもの方から説明する。増加については、一番街の内部の増加であり、その後、減少が見られるのは、国道拡幅事業の用地取得に伴う影響であると考えている。

**【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】**

アンケートのクロス集計等を用いて、属性や平日・休日、日中や夜間などの利用実態を把握し、それぞれの利用形態のイメージの整理を進めて頂きたい。

市外の人や観光客にどのように利用してほしいか、回遊してほしいかのイメージを検討して頂きたい。タクシーの位置付けについて示して頂きたい。

**【事務局】**

今年度のワーキングにおいて、整理させていただきたい。

**【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】**

広場と交通結節点との関連性について、ご教示いただきたい。

**【事務局】**

交通拠点の機能強化に関する計画ガイドラインにて、交流等機能として広場機能と防災機能の位置づけがあることから、それらを踏まえて検討していきたい。

**【沖縄市建設部】**

資料 1、P3 に、「拠点施設の用途や機能等について、地域関係団体や本ワーキングにて検討を行い、案を取りまとめた。」とあるが、どのような案であるか教えて頂きたい。

**【事務局】**

地域の 11 団体にヒアリングを実施し、7 団体からイベントができる広場にしてほしいと意見があった。また、イベントに合わせてステージを設置する場合等、イベント時の配置等に制約がかかることから、同ページの下図に示すシンプルな形が望ましいとあったこと、飲食店等の出店も考慮し、給水・排水機能や給電機能があると望ましいとご意見頂いている。

---

**【沖縄市建設部】**

地区計画について、反対などの意見はあったのか伺いたい。

**【事務局】**

特に、反対の意見はなかった。

**【沖縄総合事務局建設産業・地方整備課】**

資料 3、P11 に記載れる半径 500m 圏内のハザードマップ、防災広場の活用は重要であると考えている。このため、立地適正化計画との連携についても意識して頂いた方が、都市局事業の補助事業等の活用も見込めると考える。

**【事務局】**

財源確保のため、色々な制度の活用を検討しており、今後とも情報提供頂きたい。

**【沖縄総合事務局開発建設部道路建設課】**

バスタプロジェクトは道路管理者が主体となり進めるが、交通拠点の機能強化に関する計画ガイドラインでは、構想段階（現在）と計画段階、事業化段階、維持管理段階とあり、構想段階では、自治体主体となり、このように整備方針を検討することになる。計画段階では交通関係者、地域の合意形成等については沖縄市、他沖縄県との協力も必要になるので、引き続き協力をいただきたい。

**【都市再生機構（UR）九州支社】**

今後交通結節機能の整備を検討していく中で、整備スケジュールは検討しているのか。

**【事務局】**

今後、必要機能を整理する中で、スケジュールが見えてくると考えている。

**【都市再生機構（UR）九州支社】**

将来人口推計、人口減少も踏まえて、機能を検討すると良い。

---

**【沖縄総合事務局運輸部企画室】**

バスタプロジェクトを活用し整備を進めていくと思われるが、自動車ターミナル法の活用は考えていないのか。もし考えているのであれば事前に調整しているか。

**【事務局】**

現在は構想段階であり、まちづくりと連携した交通結節機能について検討を行う予定である。次年度の計画段階にあたり、交通関係者やバス事業者等とも意見交換をより図っていく予定であるため、自動車ターミナル法の調整については、その動きを見据えながら、追々調整を進めさせて頂きたい。

**【沖縄総合事務局運輸部企画室】**

胡屋に結節点を設けることによりバスを起因とした渋滞の発生も懸念される。バス事業者からの意見等も聴取し、これらを考慮した上で、結節点の整備の在り方を検討して頂きたい。

**【沖縄市建設部】**

胡屋のバス停利用者数が資料にあるが、その目的までわかると良い。

**【コザ商店街連合会】**

これまでは、残地の利活用や景観について検討されてきたが、これまでの話はなくなるということで良いか。

**【事務局】**

資料2にもあるように、以前から交通回遊機能として位置づけておりこれまで取り組んできた残地活用や景観については、地区計画で誘導を図り、また、権利者に建替えなどの意向調査をおこなっていく。

**【コザ商店街連合会】**

今後、交通結節点の話が展開されていくことについて、商店街メンバーに伝えてもよいのか。

**【事務局】**

沿線すべてが交通結節点になるかは未定であり、今後の検討である程度の規模が把握できると考えているが、交通結節点の検討位置であることは伝えても良いと考えている。

## 6-3-1 第2回まちづくり検討ワーキング

### (1) 会の概要

|      |  |  |
|------|--|--|
| 開催日時 | 令和3年11月17日(水) 10:00~12:00  |  |
| 場所   | 沖縄市役所 地下2階 大ホール  |  |
| 出席者  | <b>【委員】13名</b><br>琉球大学名誉教授(座長) 池田 孝之<br>琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース 准教授 神谷 大介<br>沖縄総合事務局 建設産業・地方整備課 地方整備官 座覇 洋<br>NPO法人 まちづくりNPO コザまち社中 理事長 照屋 幹夫<br>合同会社 イドムス 執行役員 廣瀬 陽<br>コザ商店街連合会 会長 仲程 誠<br>センター自治会 会長 我喜屋 盛永<br>胡屋自治会 会長 島袋 恭治<br>沖縄商工会議所 中小企業振興部部長代理 課長 比嘉 正也<br>一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会 副会長 與座 美香<br>社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会 事務局長 上原 健次<br>沖縄市 経済文化部 次長 普久原 徹<br>沖縄市 建設部 次長 山内 盛三 |  |
|      | <b>【オブザーバー】3名</b><br>沖縄総合事務局 運輸部 企画室 室長補佐 當眞 嗣章<br>沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 課長補佐 伊藝 誠一郎<br>都市再生機構 (UR) 九州支社 課長 新澤 聡   |  |
|      | <b>【事務局】7名</b><br>都市計画担当：阿嘉、浜比嘉、親泊、新里<br>中央建設コンサルタント：山中、宮國、岩崎  |  |
| 内容   | (報告)<br>第1回胡屋十字路口周辺地区まちづくり検討ワーキング議事要旨 資料1<br>交通結節点事例 資料2<br>(議事)<br>交通結節点整備に向けた整備方針、整備イメージの検討 資料3  |  |

※スペースの都合上団体名・役職名を一部省略

## (2) 会議の主な意見

---

### 交通結節点に想定される機能や、まちづくりと交通結節点との連携等に関する意見

---

#### 【沖縄市観光物産振興協会】

資料 3、P39 について、シェアサイクル等の導入による自転車利用促進の取り組みが必要とあるが、自転車道の整備と含めて考えていくことが望ましいと考えるがいかがか。

#### 【事務局】

自転車利用の推進は、インフラ整備も重要だと認識している。自転車道整備にあたっては、自転車 NW 計画の策定が必要となるため今後検討していきたい。

#### 【胡屋自治会】

資料 3、P41 の整備方針について、人を呼び込む内容と見受けられるが、呼び込むことでさらなる交通渋滞が予想され、地域住民の生活道路に車両が進入する可能性もある。安全性の観点から、歩道や自転車道等の整備についても検討頂きたい。

#### 【事務局】

資料 3、P2、居住の促進に関わる懸念事項について、渋滞回避車両の生活道路への流入による事故の増加等、キーワードとして整理しており、課題として、公共交通利用促進として整理している。

#### 【沖縄市社会福祉協議会】

整備方針①「地域住民や来訪者が、心地よく集えたり佇んだりできる拠点の構築～」とある。地域の課題について社会福祉協議会でもセンター自治会にヒアリングしたところ、コロナ禍で外出先が減少し高齢者の元気がなくなりつつあることから、高齢者が集える場が必要との意見があった。バリアフリーの観点も含め、そうした人が集まれる拠点づくりを目指してほしい。

#### 【事務局】

バリアフリー、ユニバーサルデザイン等も視野に含め、地域との意見交換を重ねながら、検討していきたい。

#### 【座 長】

国や県などのデータも活用し、基幹バスの交通結節点ができることによる効果分析等について検討が必要ではないか。

#### 【事務局】

本ワーキングの第 3 回で機能や規模を検討しつつ、波及効果について、既存データを活用し検討予定である。



---

**【座 長】**

長期的な話だが、鉄軌道の駅が整備される場合は、胡屋周辺であり地下だと考えている。地下鉄駅と連携したバスタ事例を整理し、鉄軌道も含めたイメージを持っておく必要がある。

**【事務局】**

国や県の情報を踏まえつつ、整理させていただきたい。

**【座 長】**

コザの役割分担について、リニアバスターミナルとの関係を整理いただきたい。

**【事務局】**

リニアバスターミナルについては、バス事業者から分かりづらい等の意見があることから、実現性が低いと考えており、第1回ワーキング資料において胡屋を都市間交流拠点、コザを地区間交流拠点として整理している。

**【コザまち社中】**

資料3、P41の方針4について、中心市街地の活性化の記載があるが、この実現に向けては様々な関係者間での連携が必要と考えられる。他のソフト事業との連携についても整理が必要と考えるがいかがか。

**【事務局】**

沖縄市中心市街地活性化基本計画を踏まえ、経済文化部とも連携して検討を進めている。胡屋周辺地区のソフト事業（修学旅行生の受け入れ、ヒストリート等）も含めて、機能の検討や規模、波及効果も検討したいと考えている。

**【沖縄商工会議所】**

シェアサイクルによる回遊性の話があるが、自転車道が整備されないと実現性が見えない。

**【事務局】**

自転車道整備については、自転車NW計画の策定が必要であり、それは、沖縄市全域で検討する必要があるため、今回の結節点検討とは分けて検討したい。シェアサイクルの促進を課題としているが、あくまで移動の選択肢の一つであるということと、今後、利用者需要等も含め今後の検討とさせていただきたい。

**【座 長】**

コミュニティバスを利用した回遊性について、検討しているか。

**【事務局】**

交通結節点の機能として、沖縄市循環バスの結節についても、検討予定である。

---

**【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】**

資料3、P41、どのような人（観光客や地域の方、年齢や性別など）に、どんなときに使って欲しいのか（アリーナやこどもの国へ向かう際など）、その人たちが公共交通や小型モビリティを使うメリット等も含めて整理してみてもどうか。

資料3、41に記載している方針の文章について、文章が何を指しているのか、もっと詳細に具体化して示してはどうか。

**【事務局】**

第3回ワーキングにおいて、整備方針や整備イメージに基づき機能を検討する予定であるため、その際に示せるよう検討したい。

**【沖縄市観光物産振興協会】**

観光需要ということで、数年前から平和学習の一環で修学旅行の受け入れを行っており、現在はそのイメージも定着している。緊急事態宣言も解除され、2021年11月から修学旅行の受け入れが始まっており、現時点で約12校、1団体の受け入れを行っている。1校当たり約180名～300名程度来訪される。まち歩きガイドにおいてまちの魅力発信もしている他、ドルの利用体験を行ってもらっている。

**【事務局】**

交通結節点の機能検討に向けて、こうした貸切バス等の需要も踏まえ検討していきたい。

**【合同会社イドムス】**

自転車利用が商店街周辺においても最近増加しており若い人、外国人がスピードを出して走行している傾向にあるため事故発生の可能性が高い。電動キックボードも商店街内でも見かけるようになった。そのため、商店街では自転車等の乗り入れを禁止する等、ウォークブルの実現に向けルール作りに向け取り組んでいる。自転車の利用促進を行うには安全面も踏まえ、ハード整備も必要である。一方で、沖縄アリーナや北谷町美浜等と胡屋を結ぶため、シェアサイクルによる連携を考えている。

**【事務局】**

シェアサイクル等の小型モビリティの促進は利用需要や、事業者との連携が必要と考えており、ご意見を参考に、検討させて頂きたい。

**【合同会社イドムス】**

高速バスについて、現状では胡屋から空港まで1時間30分かかる。沖縄南ICの高速バス停までの移動にタクシーで移動することもあるが、帰りは一般のバス停まで遠いため不便である。今回の結節点で連携出来るとよい。

潮乃森から胡屋への移動手段も必要ではないか。

**【事務局】**

関係部署等とも意見交換を行いながら、検討させて頂きたい。

---

**【沖縄総合事務局開発建設部道路建設課】**

資料3では国道330号沿線に住んでいる方のバス停利用が多いとあるが、バス利用圏域が狭い状況となっている。どうやって利用圏域を広げていくのか検討していくことが重要と考える。

**【事務局】**

交通結節点を中心とした公共交通の利用圏域拡大に向けて、どのような機能が適切か可能性について検討したい。

**【沖縄総合事務局運輸部企画室】**

今後のスケジュールについてわかる範囲で記載して頂きたい。

**【事務局】**

スケジュールについては、第3回まちづくりワーキングを令和4年1月末、2月頃を目途に開催予定である。

**【沖縄総合事務局運輸部企画室】**

リニアターミナルの実現性に向け事業者から意見があったといわれているが、交通結節点に関するバス、タクシー事業者とのコミュニケーションはどのような状況か。

**【事務局】**

県のバス事業者ワーキングにおいて意見交換を行っており、概ね前向きな意見をいただいている。

**【沖縄総合事務局運輸部企画室】**

沖縄県公共交通活性化推進協議会による連携計画においては、路線の再編が位置付けられているが、再編とどのように絡めて進めていくのか。現状と再編後でも整備ボリュームが異なってくるのではないかな。

**【事務局】**

今後も県やバス事業者等と連携を図りながら、検討させていただきたい。

**【沖縄総合事務局運輸部企画室】**

バリアフリー法に基づく方針策定についても検討いただきたい。

自転車、小型モビリティの特性も踏まえ、適切な手段を配置することが重要である。

**【コザ商店街連合会】**

道路や結節点が出来るというイメージもあるが、まちは削られるという感覚。交通結節点整備は、沿道に面する1枚目の建物だけではなく2枚目、またそれ以上の範囲となるような整備なのか。

**【事務局】**

第3回のワーキングにて、機能の検討を行い、その際に整備範囲を示していきたい。

---

### 【コザ商店街連合会】

第1回ワーキングにおいて10年後をイメージしているとのことだったが、商業者にとって時間は重要な要素である。特にスケジュール及び範囲を明確に示してもらいたい。

### 【事務局】

スケジュールは、交通事業者を踏まえ、機能や規模を検討しないと、示すことはできないことと、用地交渉が発生するので、明確にはできない可能性がある。

### 【沖縄総合事務局建設産業・地方整備課】

第3回まちづくりワーキングで整備の規模や波及効果を示すとしているが、様々なケースを想定して示すのか、それとも沖縄市の中ですでにイメージが決まっていてその内容を示すのか教えて頂きたい。

### 【事務局】

複数案示したいが、現時点で活用できる調査資料や示せる波及効果がどれだけあるのかの整理により、複数案示せるかが変わるため、整理を進めながら検討させていただきたい。

### 【沖縄総合事務局建設産業・地方整備課】

国道拡幅の際の用地について、2列目の事業などは考えているのか。連動してまちづくりの事業を入れることも想定する必要があるのではないかな。

### 【事務局】

関係団体等と意見交換を行いながら、今後検討させて頂きたい。

### 【沖縄市経済文化部】

経済文化部では、伝統文化と連携したまちづくりに取り組んでおり、スポーツ合宿やキャンプ合宿等も盛んとなっている。こうした市の取組促進に加え、商店街の取組として、スポーツと商店街とが連携したキングス商店街が近年行われている。商店街からは、イベント時のシャトルバスは目的地から少し遠くに降りてもらいたい意見もある。那覇向けのバスについては最終の時間が早く、イベント終了後に路線バスでの移動が出来なくなってしまう等の課題もある。

### 【座 長】

本検討について、親委員会との整合はどうなっているのか。その議論と情報交換も必要ではないか。

### 【事務局】

親委員会は胡屋～コザ間の国道330号沿道整備等の検討が目的である。本検討は交通結節点の構想検討で、今後バス事業者等、新たに委員を追加し別委員会を立ち上げ、そこに親委員会の委員を含めるべきかなど検討が必要と考えている。

---

**【都市再生機構（UR）九州支社】**

送迎の要因について、なぜ送迎を行うのか整理が必要ではないか。シェアサイクルについて、個人的に夏場は暑くて大変なため利用されるのか。地域性も含めて検討いただきたい。

**【座 長】**

国道 330 号胡屋周辺では歩いている人をあまり見ない。今後、道路そのものに歩きやすい工夫が必要なのではないか。木陰になる街路樹も必要ではないか。

パークアベニューについて、今月中には建物がなくなり空き地だらけになってしまう。今後の空き地の活用について教えて頂きたい。

**【事務局】**

沿道まちづくりの検討の中で、広場の検討も行っているが、結節点の機能として賑わい、防災が挙げられ、その中には広場も含まれることから、こうした機能も踏まえ再検討を行いたいと考えている。

### 6-3-1 第3回まちづくり検討ワーキング

#### (1) 会の概要

|      |  |  |
|------|--|--|
| 開催日時 | 令和4年2月15日（火） 15:00~17:00   |  |
| 場所   | 沖縄商工会議所 2階ホール  |  |
| 出席者  | <b>【委員】14名</b><br>琉球大学名誉教授（座長）<br>琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース 准教授<br>沖縄総合事務局 南部国道事務所副所長<br>沖縄総合事務局 建設産業・地方整備課 地方整備官<br>NPO法人 まちづくりNPO コザまち社中 理事長<br>合同会社 イドムス 執行役員<br>コザ商店街連合会 会長<br>センター自治会 会長<br>胡屋自治会 会長<br>沖縄商工会議所 中小企業振興部部長代理 課長<br>一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会 副会長<br>社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会 事務局長<br>沖縄市 経済文化部 次長<br>沖縄市 建設部 次長 | 池田 孝之<br>神谷 大介<br>大城 元秀<br>座覇 洋<br>照屋 幹夫<br>廣瀬 陽<br>仲程 誠<br>我喜屋 盛永<br>島袋 恭治<br>比嘉 正也<br>與座 美香<br>上原 健次<br>普久原 徹<br>山内 盛三 |
|      | <b>【オブザーバー】4名</b><br>沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 課長補佐<br>沖縄総合事務局 南部国道事務所 調査第一課 課長<br>沖縄県 企画部 交通政策課 課長<br>都市再生機構（UR）九州支社 課長   | 伊藝 誠一郎<br>仲村 将成<br>金城 康司<br>新澤 聡   |
|      | <b>【事務局】7名</b><br>都市計画担当：阿嘉、浜比嘉、親泊、新里<br>中央建設コンサルタント：山中、宮國   |  |
| 内容   | （報告）<br>第2回胡屋十字路周辺地区まちづくり検討ワーキング議事要旨   | 資料1  |
|      | （議事）<br>交通・回遊機能の検討   | 資料2  |

※スペースの都合上団体名・役職名を一部省略

## (2) 会議の主な意見

---

### まちづくりと交通結節点との連携、現在進められている道路事業等に関する意見

---

#### 【沖縄県企画部交通政策課】

資料 2、P5 のリニアバスターミナルの今後の位置付けについて、バスレーンの拡充、拡張といった文言を記載してほしい。

#### 【事務局】

検討させていただきたい。

#### 【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】

資料 2、P30 のスケジュールについて、国の計画段階に引き継いだ場合、市で行う結節点周辺のまちづくりについて、来年度にも移行する予定か。それとも次年度も市の構想段階か。

#### 【事務局】

今回は概略段階の検討のため、来年度までは市の構想段階と考えている。

#### 【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】

結節点周辺のまちづくりの中でも、回遊性を高めるためにすぐ取り組める施策はある。来年度以降で具体的に取り組む施策について考えているものがあれば教えて頂きたい。

#### 【事務局】

取り組みとして、残地の活用はこれまで同様に検討していきたい。また、結節点が整備されるまでのタイムラグを見据えた残地活用についても、関連部署と意見交換を行いながら検討していきたい。

#### 【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】

北谷、うるま、北中城等の隣接市町村との回遊性（ソフト施策）について、どのようにイメージされているか教えて頂きたい。

#### 【事務局】

周辺の自治体との関連について、資料 2、P10 に都市間交流拠点として示しているが、基本的には基幹バスを中心として、後は周辺市町村間を行き来できるようにしたい。具体的な手法は今後の検討課題と考えている。胡屋の交通結節点でそのあたりの発展性も考えていきたいと考えている。

---

**【座 長】**

結節点整備に向けたスケジュールについて、国道の整備も進んでいることから、具体的なものを示す必要があるのではないか。

**【事務局】**

関係機関と連携を図りながら、交通結節点と国道拡幅等を踏まえたより具体的なスケジュールを示せるよう、検討したい。

**【座 長】**

沿道まちづくりについて、国道拡幅、残地の活用は近視眼的ではなく、長期的な視点で議論を進めてきた。交通結節点整備されるまでの期間についても、短期的・中期的・長期的に整理する必要がある。これまでの検討内容とも併せて整理頂きたい。

**【事務局】**

課題として、道路事業を踏まえたまちづくりを資料 2、P30 に整理している。これまでの取組を整理しつつ関係機関との連携調整を図りながら、交通結節点整備されるまでの段階的なスケジュールを作成していきたい。

**【合同会社イドムス】**

現状の報告として、胡屋北交差点事業の進捗により、実際に残地が発生している。残地の活用に向けた早急な検討が必要と考えている。残地を放置することで様々な問題発生が想定されるため、早めに手を打っていく必要があると考えている。

**【事務局】**

過年度より、残地利活用に向け用途の制限など地区計画策定に取り組んでいる。また、残地活用の良し悪しや何を問題としているかなど、イドムス、コザ商店街連合会、市等それぞれの立場から意見交換を行い、意識共有を図ることが重要だと考えているため、そういった取り組みから検討していきたい。

**【座 長】**

地権者がどう考えているかわからないとあったが、過年度のヒアリング結果を活用して整理できないのか。

**【事務局】**

過年度の残地活用調査については、整理しているが、協力頂けていない地権者もあり、全ての地権者意見が網羅されていない現状がある。



---

**【座 長】**

残地活用を期待し、まちづくり会社設立支援を行ってきたが、まちづくり会社の現在の取り組みを教えて頂きたい。

**【事務局】**

設立支援を行ったまちづくり会社イドムスでは、商店主のコロナ対策に関する支援の実施、商店街振興組合や市からまちづくりに関する業務を受託し、まちの活性化に向けた取組を行っている。

**【コザまち社中】**

コザまち社中では、空き店舗を対象にサブリース事業を展開しており、一つでも多くシャッターを開ける活動をしている。国道 330 号拡幅については、前向きに考えており、市には早急に建物を取り壊してほしいと伝えている。残地の活用に向けては、これまでコンテナハウスなどを検討してきたが、キッチンカーの方がより有効活用が出来ると考えている。スタートアップ事業にも携わっているが、やる気のあるよそ者がまちに入ってきている。そうした人と交流しながら、変化していくまちをうまく活性化していくことは、すごくいいテーマではないかと考えている。

**【沖縄商工会議所】**

残地の件でルールを決めて頂きたい。現在、残地活用について商工会議所に相談が来ており、すでに地主とも話を進めていると伺っている。市の許可は必要ないのか。また他手続きが必要なのか。まだ契約自体は進んでいないようなので市役所への案内は可能である。

**【事務局】**

残地は基本的に民地であるため、市に対する許可制度等ではなく、市が制限することもできない。よって地主が了承いただければ市まで情報共有いただきたい。市としても地区計画策定に取り組んでいるため、地主へ情報共有等行っていきたい。

**【座 長】**

事態はかなり急いでいる印象を受ける。小さな残地でもいいので協議会のようなものを関係者で作って良い残地活用モデルを作るのはいいのではないかと。

**【事務局】**

現在、建物の取り壊しが着々と進む中、地域が今後残地を活用した賑わいをイメージできるようなモデルケースをつくるなど、手法等も含め検討させて頂きたい。

---

**【沖縄市経済文化部】**

結節点整備の目的はまちの活性化だと考えている。市では、交通結節点整備を核としたまちづくりに向けて、中心市街地活性化基本計画の第3期が出来ないか、令和4年度に検討を行う予定である。

**【座 長】**

沖縄県内の市町村において、沖縄市だけが中心市街地活性化基本計画で大臣認定を受けている。まちの取組を計画に位置付け補助を受けるなど、経済政策もしっかりやっていく必要がある。短期間でのまちの再開発といった議論まではいかないにしても、前提となる調査等も行いながら、しっかり取り組んでいただきたい。

**【沖縄市経済文化部】**

近隣の市町村との連携について、観光スポーツ振興課が対応しており、第2次沖縄市観光振興計画を策定予定である。観光についても近隣と連携しながら取り組みを行っている。

**【事務局】**

経済文化部とは、中心市街地活性化基本計画、交通結節点事業、残地活用等について意見交換を重ねているところで、そうした前提を踏まえて段階的なまちづくりとして検討を進めていきたい。

**【沖縄市経済文化部】**

本ワーキングでは、交通結節点がテーマとなっているが、どうやって人を商店街に呼び込むかについては、建設部と一緒に考えていきたいと考えている。まちづくり会社、通り会等もいるため、色々検討していきたい。

**【沖縄市観光物産振興協会】**

報告として、沖縄総合事務局の小型モビリティの実証実験へ応募し、電動キックボードによる沖縄アリーナからの移動に関する実証実験を令和4年3月から1カ月間を予定している。参加者にはアンケートに協力頂き無料で利用してもらうことを想定している。

**【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】**

各関係者が同じ方向、ビジョンをもって議論されているのか教えて頂きたい。また、同じビジョンを持たれているのであれば、共有頂ければ効果に関する指標等もアドバイス可能である。

**【事務局】**

過年度の取り組みとして、本ワーキングにて沿道まちづくりビジョンを策定しており、各委員と共有している認識である。

---

### 【琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース】

本ワーキング以外で、まちづくりや残地活用について話せる場があると良いのではないかと。事業者等が関わる場合は形式的な会議よりも、多頻度でフランクに話しながら共有できる場があればよいと考える。

### 【事務局】

行政と事業者とでは時間軸が異なるため、関係者各位と連携しながらそうした場の設置についても検討していきたい。

### 【コザ商店街連合会】

残地について、商店街側では、新しいものが出来る期待感を持つと共に、様々な問題が発生するとも考えている。残地を有効に活用できない場合、不法駐車や残地の未管理による荒地の発生が危惧される。比嘉委員の意見の通り、ルール作りをしっかりとすることで、10年の間に新たな商売が考えられることがある。しかし、地区計画を作ってからというのではスピード感が全くないとも考えている。

### 【座 長】

残地という後ろ向きの印象であるが、活性化のための種地でもある。魅力的な名前を付けてモデル的に早めにスピード感を持って取り組む必要がある。

### 【コザ商店街連合会】

胡屋のまちが古びて、改修工事もままならず危険地域になってきている面もある。積極的に規制等してもらい、まちの人間による商売が出来て、残地の利活用が出来たらいいと考えているのでぜひとも行政、委員共に、目の前の問題であると認識頂きたい。イドムス、商工会議所連携してどうするか協力し合って会議をずっと重ねているところであるため、今後もしいい案があれば教えて頂きたい。

### 【事務局】

残地活用について、スピード感を持ち取り組んでいきたい。拡幅残地は民地であり、市によるコントロールがしにくいこと、地区計画は条例に基づき制限を行うため、時間を要する手続きになることを、ご理解いただきたい。また、市としても地域の情報収集や地主の協力を仰ぐ際など、残地活用に向け商店街やまちづくり会社との連携が必要不可欠だと考えている。今後も商業振興や残地利活用の促進に向け、連携していきたい。

### 【沖縄総合事務局開発建設部道路建設課】

資料 2、P30 にスケジュールが示されており、バスタ事業の活用を想定していると思う。バスタ事業は構想段階において、交通結節点整備についての地域の合意形成が前提であり、それがないと道路管理者が施工する際にトラブルになる可能性がある。今後、市民に交通結節点の可否的なことを聞くタイミングがあるか、教えて頂きたい。

### 【事務局】

次年度以降も構想策定期間として取り組み、合意形成についてはパブリックコメントなどの手法も検討していきたい。

---

**【沖縄総合事務局開発建設部道路建設課】**

拡幅残地は結節点の用地としても検討されていることも踏まえ、残地活用をご検討いただきたい。

**【事務局】**

交通結節点用地について、資料 2、P26 に示しているが、拡幅による残地については、狭小になると想定している。これまでの検討で残地の暫定的な利用を想定しており、例えば屋台村、コンテナ等を検討してきている。今後は結節点整備を見据え、地権者等へ交通結節点を活かしたまちづくりが推進されるよう、ご理解、ご協力を求めている。